

ヴェリタス学習会通信68



予定表カレンダー →

令和4年11月の予定

- ・月曜日 11月7・14・21・28日 大安公民館1階研修室または視聴覚室 18:30～21:00
- ・水曜日 11月2・9・16・23・30日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 11月10・24日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
11月17日 員弁老人福祉センター1階会議室4 18:00～20:30
- ・金曜日 11月4・11・18・25日 北勢福祉センター2階小会議室 18:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

3日（木・文化の日）はお休みです。23日（水・勤労感謝の日）は事務局ですので、予定しておきます。

17日（木）はいつもの部屋ではなく、一番東の会議室4です。

連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189（+メッセージも可能）

メールアドレス：npooveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay（4文字目は数字のゼロです）

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければMessengerが使えます。メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



今後、さらに利用が広がるZoomクラウドミーティングやSkype, Facetime, Google Meetなどを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

いなべの民は大工だった

『日本書紀』の記述を脚色して話します。



応神天皇の31（西暦231）年、伊豆の国（静岡県の一部）で作られた大きな船が古くなって、これ以上使うと危ない状態になりました。そこで、解体して燃やし、塩づくりに利用しました。船からとった薪を燃やして作った塩だと宣伝し、各地に配りました、五百籠（かご）を配ると、五百艘（そう）の船が各地から、武庫（むこ）の水門（みなと=港）に集まってきました。武庫は現在の兵庫県の名です。

船が燃えてしまう

そのときに、ちょうど新羅（シルラ・しらぎ）の使いが武庫の港に来ていました。この新羅使節団が誤って火事を出してしまい、五百艘の船の多くが消失してしまいました。

新羅の王は、これを聞いてビックリ。船大工の一団を日本に献上しました。この大工の一団は、猪名部（いなべ）という集団を形成し、船や建物を造って、朝廷のために働きました。

猪名部氏は、武庫の港の近くの河辺郡為奈郷（かわべぐんいなごう）に住み着きました。川辺郡猪名川（いながわ）町というのが現在もあります。尼崎市の多くの地区も河辺郡でした。市を武庫川が流れています。

猪名部真根（いなべまね）、芸は身を助く

猪名部氏は各地に散らばり、移住したと思われます。いなべ市にも、大工たちが移住してきたと考えられています。のちの時代の東大寺の建立には、大安町の笠間郷（かさまごう）から、弱冠17歳の若者が大工として参加した記録が残されています。

それに先立つ雄略天皇13（西暦469）年に、猪名部真根（韋那部真根・いなべまね）が、都で仕事をしていました。石を台にして斧で木材を割り切っていました。きれいに切っていきます。1日中切り割っても失敗せずに、斧の刃を傷めることもありません。



天皇がこれを見て、「失敗することはないのか」とたずねました。「失敗はしません」

と真根が答えると、意地悪をしたくなっただけでしょう。天皇は、木材を切り割っている真根の近くに、女官（采女・うねめ）たちを集めて裸で相撲をとらせました。真根もさすがに動揺して、手元が狂いました。刃が傷ついてしまったのです。



天皇は、「お前、ウソついたな」と言って罰しようとしていました。物部（もののべ）氏に処刑を命じました。真根は刑場に連れていかれました。真根の大工仲間が、天皇に言いました。「韋那部（いなべ）の匠（たくみ・名人のこと）の腕は優秀で、もったいないですよ。

木材を切る所に線を引く道具も、もったいないことです。韋那部の匠がいなくなれば、一体だれがこの道具を使うのでしょうか。道具も無駄になってしまいます。もったいない」

天皇は急いで使いを出し、処刑を中止させ、次のような内容の歌を詠みました。「速いと評判の山梨産の黒馬でも間に合わなかつたらうな。処刑中止の使いが、鞍（くら）を乗せてから走っていれば、真根は命を落としていただろう。山梨の黒馬でもな」

